

下朝比奈 当日 Q&A

Q: 老朽化した宮ヶ谷公民館へのコミュニティ施設の整備補助金を親身になって相談や手続きを進めてくれてありがたい。補助金の交付までに大変お世話になったことに感謝している。

Q: 朝比奈の活性化と地域での自立したまちづくりのため昨年 11 月に署名と要望書を提出した、あらさわふる里公園への温泉施設建設要望の状況は。

A: 付帯施設のある「ぷるる」や御前崎のサンホテル跡地、国民宿舎辺でも観光面で誘客を図る手段として温泉も選択肢の一つ。ただ、温泉施設は市の財源を将来にわたって負担していかなければならない。地区からは「足湯だけでも」という話もあったが、収益が見込めない。温泉の掘削と施設の建設は、理解が得られないと判断している。したがって、現段階では難しい。

Q: ソフトボール協会から多目的グラウンドを作ってほしいと要望したが、状況はどうか。

A: ソフトボール協会とグラウンドゴルフ協会から多目的グラウンドの要望が上がっている。「ぷるる」北の山を造成してグラウンドを作ってほしいということも聞いているが、造成から 10 億単位の莫大な費用がかかるとのこと。全国大会を誘致の話も聞いたが、毎年全国から御前崎へ集まって大会を開くことは考えにくい。相応の費用対効果を研究する必要がある。

Q: 農業への補助で「畑作振興事業」があるが、5 人以上の営農集団でないと対象にならない。近隣市では、認定農業者が含まれていれば 3 人以上が対象であるとか、2 割以上の認定農業者であれば対象となるなどの措置があると聞いた。現実的に農業後継者が激減する中で 5 人の営農集団は厳しい。対象要件を緩和してくれないか。

A: 農業への支援は大事。農家が儲かることと、今利用されている農地を減らさないこと。何とか歯止めをかけて支援していきたい。市としても実情に合致した対策を考えたい。農業者にも専門家として適切な助言をほしい。

Q: 今は環境を考えて CO2 削減に向けて取り組む時代。公民館へ太陽光発電設備をつけたときの補助制度はあるのか。公共施設などはもっとエコに取り組むべきだ。先を見据えた先行投資をしてもいいだろう。

A: すばらしい意見。太陽光発電の補助は一般住宅にはあるが、公民館などは対象外。持ち帰って前向きに考えたい。

Q: 行政改革は今何%進んでいるのか。示すことができるか。また、達成率が良いもの、一方で見直さなければならないことは何か。

A: 市民サービスの低下につながるよう進めている。内容は広報おまえざき 7 月号へ掲載した。痛みを分け合う補助金の削減などは大変だ。公用車も軽自動車へ変更している。全体を見ながら進めていきたい。

Q：市内企業の CO2 排出量を把握しているか。市独自で削減していかないと国の目標は達成できない。ISO14000 番台を取得している事業所であればデータは持っているはず。

市が他の企業や事業所にも呼びかけて削減していく体制を作っていくべきだ。「クリーンエネルギーのまち御前崎」を PR していったらどうか。

A：CO2 排出量は把握していない。できるものかを含めて参考意見としたい。

Q：西部線の延長で頭山まで道路が接続されれば、下朝比奈の市道へ交通量が増える。歩行者の安全確保に歩道を設置してほしいと要望したがどうか。

A：大型車交通に備えた歩道の確保は重要。前向きに考えている。

Q：西部線の延長は頭山から先の構想があるのか。

A：現段階では構想がない。つながる道路へは大型車両の通行ができるよう新野篠ヶ谷のクランクを改善したていきたい。東名高速道路や空港、御前崎港へのアクセスを考える上で朝比奈や比木、新野を含めた道路整備が必要な時期が来るだろう。

Q：市長の公約のうち、達成できたものとできていないものはどんな具合か。

A：第一に農業の振興。一次産業の振興への取り組みに遅れがある。後継者が育ってほしいという願いもある。厳しい状況を何とか打破していきたい。みなさんの姿勢の中に自立と協働の息吹を感じる。御前崎港の振興も 10 年はかかるだろう。パースの整備をはじめ、荷役の需要と供給のバランスが取れた発展を目指したい。

Q：東海地震は今回の 100 倍とも 200 倍とも言われている。原子力発電所は大丈夫か。

A：今回の地震では「止める・冷やす・閉じ込める」の原則は機能した。しかし、5 号機の地震動が大きかった。結果が出次第市民へ説明するよう要請している。やはり国や事業者からは大丈夫と聞いているが、耐震について議論し、積極的に市民へ安心感を与える方策を呼びかけていきたい。

Q：市立御前崎総合病院に産婦人科がない。年間数百人の子どもが生まれていると思う。近くに産婦人科がほしい。

A：市立病院にも 1 人いるが、リスクの高い産婦人科の医師が非常に少ないのが現状。地理的条件も加味すると開業も厳しい状況。医師の派遣は呼びかけていく。

Q：北子ども園の幼稚園の受付時刻が 8 時 40 分からだが、8 時 30 分にならないか。送る時刻と仕事の都合でなるべく早くしてほしい。新野のときは 8 時 15 分から受け付けてくれた。

A：現状を調査して連絡する。